



取扱説明書・保証書

この度は“ギオネ”ウォッチをお買上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用ください。


GUIONNET
PARIS

取扱上のご注意

■温度について

時計を直射日光にさらしたり高温になる場所、また寒いところ等、温度差の激しい場所に長時間放置しないでください。進み・遅れ等の精度に支障をきたします。常温に戻れば精度は回復しますが、激しい環境は時計の寿命に影響しますので十分にご注意ください。

■ショックについて

ジョギング等の軽い運動程度のショックでは機械に影響はありませんが、キャッチボールやテニス等で生じるショックは出来るだけ避けてください。また、落下や激しい接触等のショックは与えないでください。

■磁気について

現代の日常生活においては、身の回りの電磁気製品を発生源とした磁界が多くあります。腕時計の部品には、鋼が多く使われており、その部品が磁気を帯びると、大幅に遅れたり進んだり止まったりします。

特に下記のような電磁気製品からは、5cm以上離してご使用・保管をしてください。

磁気帯びは物理的現象であり、時計の故障ではございません。

※時計の磁気帯び状態

一般的に5ガウス未満ならば許容範囲で、精度は維持されると言われております。5ガウス以上の帯磁があると、精度に狂いが生じると言われております。



■電池交換について

電池寿命は平均約2年ですが、最初の電池は工場出荷時に組み込まれたモニター電池ですので、電池寿命に満たないうちに容量が切れることがあります。電池切れの際は最寄りの時計店にて電池交換を行ってください。但し保証書期間内であっても電池は消耗品ですので有料となります。

■ネジ等の外装部品について

ブレスレット等の外装部品に使用されているネジ類は、可動部分であるため年月とともに少しずつゆるんでいきます。メガネのネジがゆるむのと同じ現象ですので、定期的にネジ類の増し締めを行ってください。また、外装部品（ブレスレット・革ベルト・裏ブタ）等は使用中、常に人体に触れているため、汗・脂等の汚れが付着しやすい部分です。こういった汚れと空気中のほこり等のゴミが時計に付着すると外装部分の変色・欠落・破損や肌にかぶれ・かゆみが生じます。末長くご使用いただくためにも定期的なお手入れを行ってください。

■裏ブタのシールについて

ご購入時に時計の裏ブタに添付してあるシールは必ずはがしてご使用ください。シールがついたままでご使用されますとサビが発生することがあります。

■お手入れについて

ケースやブレスレット（革ベルト）等の外装部分は常に人体に触れているため、たいへん汚れやすい部分です。外装部分に汚れ・汗・水滴がついているときは、吸湿性の良い柔らかな布で拭き取って常に清潔にしてください。メッシュブレス・ブレスレットの汚れや目詰まりがひどいときは、水にうすめた石鹼水などにつけて、手や歯ブラシで洗い、その後必ず水洗いを行ってください。金、銀等の貴金属製品は空気に触れることで表面が化学反応をおこし黒く汚れます。汚れたままでご使用されますと衣類等に汚れが付着する場合がありますので、特に清潔な状態を保つようご注意ください。

※この時、防水時計以外は時計本体に水がかからないように十分ご注意ください。



- お客様の体質によっては、かゆみ・かぶれが生じる場合がありますので、皮膚に異常を感じた時はご使用をお止めいただき、専門医にご相談ください。
- 汗や汚れが付着したまま使用しますと、サビなど衣類への汚れの原因になる恐れがあります。また、洗浄もこまめに心掛けてください。
- 力仕事や激しいスポーツをする時、就寝時や幼児の世話をする時など、身体に危害を及ぼす場合がありますのでご注意ください。

■防水性について

時計修理品として持ち込まれるものの多くに、水没・水の浸食があります。水の浸食による故障のほとんどは、ご使用上の原因によるものと思われます。

一般的に時計は非防水・日常生活防水・完全防水と大別されます。

日常生活防水には、3気圧防水(または3ATMや30M防水やWATER RESISTANTと表記)、5気圧防水(または5ATMや50M防水やWATER RESISTANTと表記)などの分類があります。3気圧防水は汗・はねた水滴の付く程度(水圧のかからない状態)、5気圧防水は3気圧防水をやや強化したのですが、実際に30Mや50M潜れる訳ではなく、水に浸すこととなる素潜りや水泳には適しません。防水性を表す数字は水圧を表しており、水道の蛇口から出る水などは水圧が高く、水のかかり方によっては日常生活防水の時計でも水が浸食する場合があります。

また、防水性は年月とともに劣化します。電池交換時などに合わせて、定期的な防水検査をお勧めします。(時計の防水性を保つパッキンが、長期間の使用により温度や水分や汚れなどの影響を受け、弾力性が失われて防水性が低下する為)

防水時計であっても、その防水性以上の水圧がかかった場合は水の浸食により故障となります。水の浸食による故障は、その大半が修理不能となり保証も適用されません。お持ちの時計の防水性を必ずご確認の上、ご使用には細心の注意をお払いください。

○ネジ込み式リューズは完全に締めてからご使用ください。ダイビング・水泳・水仕事などでのご使用の前にリューズの締め具合を確認してからご使用ください。リューズがゆるい場合には、防水機能がきかず、水の浸食の原因になります。

○ストップウォッチに関して

水中や水滴のついたままでのストップウォッチ操作は出来ません。水の浸食の原因となります。

使用例		汗はねた水滴がつく程度 (水圧のかからない状態)	雨や水がかかる (水圧の極端な変化がない状態)	水泳など直接水につける場合 (プールでの水泳程度)	ダイビング (空気を呼吸しないもの) および マリンスポーツ	水滴の付いた状態での リューズ操作
仕 様	5気圧 (5ATM・50m・WATER RESISTANT)	○	×	×	×	×
	10気圧 (10ATM・100m)	○	○	×	×	×
	15気圧 (15ATM・150m)	○	○	○	×	×
	20気圧・30気圧 (20ATM,30ATM,200m,300m)	○	○	○	○	×

クォーツ時計(電池式) ※該当の時計をお買上げの際はお読みください

■時刻と日付の合わせ方

日付付きの時計は、リュースを二段式に引き出すようになっています。一段引き出した位置(図:Iの位置)でリュースを回すと日付が一日進みます。時刻を合わせるときは、リュースを二段引き出した位置(図:IIの位置)で行ってください。カレンダーの付いていない時計は、リュースを一段引き出してから回せば、時刻を合わせる事ができます。



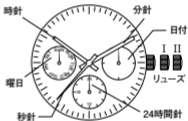
■時刻と日付の合わせ方(曜日付)

- 1.リュースを一段引き出した状態(図:Iの位置)で時計回りに回すと日付針が進みます。
 - 2.二段引き出した状態(図:IIの位置)で回すと時刻を調整できます。
- その際に曜日も進みます。2日以上曜日を進めたい場合は、「曜日早送りの方法」をご参照ください。

※24時間針は時・分針と連動しておりますので、調整はできません。

曜日早送りの方法

時刻調整で針を進めて曜日が変更されたら、そのまま午前3時まで針を進め、その後逆にリュースを回して午後11時前まで針を戻します。これを繰り返すと曜日の針が早送りできます。



注意事項

- ①午後9時から午前3時までは、日付調整を行わないでください。

この時間帯は、日付を変更する歯車がかみ合っている時ですので、無理に調整されると歯車が破損し、正しい時間帯に日付調整がおこなわれなくなる事がございます。

日付調整をされる時は、必ずこの時間外に針を動かしてから調整してください。

日付・時刻を合わせた後は、必ずリュースをもとの位置に戻してください。もとの位置に戻さずにご使用されますと、水・湿気などが入り故障につながります。

- ②防水タイプ(100メートル防水以上)の場合は、リュースがネジ込み式になっているモデルもありますので、リュースを6時方向(手前)に回してネジをゆるめてから日付・時刻の修正をしてください。修正が済みましたら、リュースを12時方向にネジが回らなくなるまでしっかりねじ込んでください。
- ③月末が短い月(2、4、6、9、11月)は、翌月1日にその分だけ日付表示がずれますので、合わせてご使用ください。

クロノグラフの使い方1

★このクロノグラフは、最大59分59秒まで1秒単位で測定し、表示することができます。

《時間計測》

Aボタンを押すとスタートし、クロノグラフの秒針が1秒ごとに刻んでいきます。1分を経過するとクロノグラフ分針が1目盛り動きます。もう一度Aボタンを押すとストップします。リセットするには、Bボタンを押してください。(スタートとストップを繰り返し、積算を行うこともできます。)

0修正方法

1. リューズを2段引き出し、(II)のポジションにします。

この状態でAボタンを押すとクロノグラフの秒針が動きま
すので、0の位置まで動かしてください。

2. 修正が終わりましたら、必ず元のポジションまでリューズ
を戻してください。

※クロノグラフ分針がズれていてもリューズがどの
ポジションでもBボタンを押すとリセットされます。



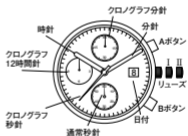
クロノグラフの使い方2

★このクロノグラフは最大11時間59分59秒まで1秒単位で測定し、表示することができます。

1. Aボタンを1回押すと、スタートし、クロノグラフの
秒針が1秒毎に刻まれます。1分経過すると、ク
ロノグラフ分針が1目盛り動き、クロノグラフ12
時間針は1時間で1目盛り動きます。

2. Aボタンを押すとストップウォッチはストップします。

3. Bボタンを押すとストップウォッチ機能はリセットさ
れ、0に戻り最初の状態になります。



0修正方法(クロノグラフ秒針、クロノグラフ分針)

・リューズを2段引き出し(II)のポジションにします。この状態でAボタンを押すとクロノ
グラフの秒針が動きますので、0の位置まで動かしてください。修正が終わりましたら
リューズを元のポジションまで戻してください。

※クロノグラフ分針がズれていても、どのポジションでもBボタンを押すとリセットされます。

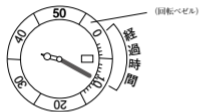
0修正方法とは

クロノグラフの時計は複雑な構造になっておりますのでリセットをしても針が0に戻らない場合がございます。
又、衝撃等に弱くショックを与えたりすると、クロノグラフの秒針がズれる場合がございますが、お買い求め頂いた時
計には0修正機能がありますので0に戻らない場合はそれぞれの操作説明の手順で修正を行ってください。

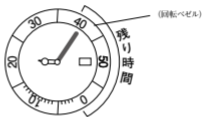
ダイバーウォッチ、回転ベゼルの使い方

回転ベゼルの▽印(0の位置)を目印にすることで、あらかじめ分針又は時針に合わせておくとおと経過した時間がわかり、目標時刻に合わせておくとおと残りの時間がわかります。水中にもぐってからの時間、又は駐車時間、歩行時間、乗物の発車時刻までの残り時間・約束時間の目標など、広範囲に利用できます。

※誤動作防止の為基本的に逆回転防止となっています。



経過時間:
9時10分から10分経過
していることを示します。



残り時間:
9時25分まで20分残っ
ていることを示します。

航法計算のしかた

1. 掛算・割算・比例計算

(A) 掛算

[問] $30 \times 40 = ?$

[解]

- ① 固定目盛盤の数値10に回転目盛盤の数値30を合わせる
- ② 固定目盛盤の数値40に対応する回転目盛盤の数値12を読み取る
- ③ 位取りをして100を掛け1200と求める

[答] 1200

(B) 割算

[問] $120 \div 40 = ?$

[解]

- ① 固定目盛盤の数値40に回転目盛盤の数値12を合わせる
- ② 固定目盛盤の数値10に対応する回転目盛盤の数値30を読み取る
- ③ 位取りをして3を求める

[答] 3

(C) 比例計算

[問] $30/10 = ?/40$

[解]

- ① 固定目盛盤の数値10に回転目盛盤の数値30を合わせる
- ② 固定目盛盤の数値40に対応する回転目盛盤の数値12を読み取る
- ③ 位取りをして120を求める

[答] 120

※一般的な計算の時には、固定目盛盤の10を基準目盛として使用します。

2. 平方根計算

[問] 576平方根=?

[解]

固定目盛盤の数値576(57.6の目盛)に対応する回転目盛盤の数値と回転目盛盤の数値10に対応する固定目盛盤の数値が等しくなる点を回転目盛盤を回転させながら見出します

[答] 24

3. 時間・速度・距離計算

(A) 時間算

[問]

速度(対応速度)

:200MPH(km/h)

飛行距離:100マイル(km)

飛行時間:?

[解]

- ① 固定目盛盤のタイムインデックスに回転目盛盤の数値20を合わせる
- ② 回転目盛盤の数値10に対応する固定目盛盤の数値30を読む
- ③ 位取りをして30を求める

[答] 30(分)

(B) 速度計算

[問]

速度(対応速度):?

飛行距離:100マイル(km)

飛行時間:30分

[解]

- ① 固定目盛盤の数値30に回転目盛盤の数値10を合わせる
- ② 固定目盛盤のタイムインデックスに対応する回転目盛盤の数値20を読む
- ③ 位取りをして200を求める

[答] 200MPH(km/h)

(C) 距離計算

[問]

速度(対応速度)

:200MPH(km/h)

飛行距離:?

飛行時間:30分

[解]

- ① 固定目盛盤のタイムインデックスに回転目盛盤の数値20を合わせる
- ② 固定目盛盤の数値30に対応する回転目盛盤の数値10を読む
- ③ 位取りをして100を求める

[答] 100マイル(km)

$$\text{速度} = \frac{\text{距離}}{\text{時間}}$$

の関係式で全て計算ができます

*時間は分を基準に考えます。

4. 燃焼消費率・必要燃料・飛行(走行)可能・時間計算

(A) 燃焼消費率計算

〔問〕

飛行(走行)時間:300分(5時間)

燃料消費量:175ガロン(l)

燃料消費率:?

〔解〕

(1)固定目盛盤の数値30に回転目盛盤の数値1.75を合わせる

(2)固定目盛盤のタイムインデックスに対応する回転目盛盤の数値35を読む

〔答〕 35ガロン(l)/時

(B) 必要燃料計算

〔問〕

飛行(走行)時間:300分(5時間)

燃料消費量:?

燃料消費率:35ガロン(l)/時

〔解〕

(1)固定目盛盤のタイムインデックスに回転目盛盤の数値35を合わせる

(2)固定目盛盤の数値30に対応する回転目盛盤の数値1.75を読む

(3)位取りをして175を求める

〔答〕 175ガロン

(C) 飛行(走行)可能時間計算

〔問〕

飛行(走行)時間:?

燃料消費量:175ガロン(l)

燃料消費率:35ガロン(l)/時

〔解〕

(1)固定目盛盤のタイムインデックスに回転目盛盤の数値35を合わせる

(2)回転目盛盤の数値1.75に対応する固定目盛盤の数値30を読む

(3)位取りをして300を求める

〔答〕 300分(5時間)

$$\text{消費量燃料} = \frac{\text{必要燃料}}{\text{飛行時間}}$$

の関係式で全て計算ができます

*時間は分を基準に考えます。

5. 上昇(下降)高度・上昇(下降)率・上昇(下降)時間計算

(A) 上昇(下降)高度計算

〔問〕

上昇(下降)率:430FT/分

上昇(下降)時間:18.6分

上昇(下降)高度:?

〔解〕

(1)固定目盛盤の数値10に回転目盛盤の数値43を合わせる

(2)固定目盛盤の数値18.6に対応する回転目盛盤の数値80を読む

(3)位取りをして8000を求める

〔答〕 8000FT

(B) 上昇(下降)率計算

〔問〕

上昇(下降)率:?

上昇(下降)時間:18.6分

上昇(下降)高度:8000FT

〔解〕

(1)固定目盛盤の数値18.6に回転目盛盤の数値80を合わせる

(2)固定目盛盤の数値10に対応する回転目盛盤の数値43を読む

(3)位取りをして430FT/分を求める

〔答〕 430FT/分

(C) 上昇(下降)時間計算

〔問〕

上昇(下降)率:430FT/分

上昇(下降)時間:?

上昇(下降)高度:8000FT

〔解〕

(1)固定目盛盤の数値10に回転目盛盤の数値43を合わせる

(2)回転目盛盤の数値80に対応する固定目盛盤の数値18.6を読む

〔答〕 18.6分

*時間は分を基準に考えます。

◇換算のしかた

この円形計算尺には距離計換算目盛がついています。

〈距離計換算〉

・海里(nautical miles) 法定マイル(statute miles) キロメートル(km)

用語説明

区 分		解 明
距 離	NAUT	nautical mile(海里)の略、1NAUT=1.852km
	STAT	statute mile(法定マイル)の略、1STAT=1.609km
	KM	kilometerの略、1km=3280feet
	FT	feetの略
速 度	MPH	mile per hourの略、1MPH=1.609km/h

*参考:1knot=1NAUT/h=1.852km/h

●海里(nautical miles)・法定マイル(statute miles)・キロメートル(km)換算

(A)海里→法定マイル・キロメートル

〔問〕

35海里→?法定マイル→?キロメートル

〔解〕

- 固定目盛盤の数値35に回転目盛盤のNAUTの矢印を合わせる
- 回転目盛盤のSTAT矢印に対応する固定目盛盤の数値40.3を読む
- 回転目盛盤のKM換算矢印に対応する固定目盛盤の数値64.8を読む

〔答〕 40.3法定マイル
64.8km

(B)法定マイル→海里・キロメートル

〔問〕

40.3法定マイル→?海里→?キロメートル

〔解〕

- 固定目盛盤の数値40.3に回転目盛盤のSTAT換算矢印を合わせる
- 回転目盛盤のNAUTの矢印に対応する固定目盛盤の数値35を読む
- 回転目盛盤のKM換算矢印に対応する固定目盛盤の数値64.8を読む

〔答〕 35海里
64.8キロメートル

(C)キロメートル→法定マイル・海里

〔問〕

64.8キロメートル→?法定マイル→?海里

〔解〕

- 固定目盛盤の数値64.8に回転目盛盤のKM換算矢印を合わせる
- 回転目盛盤のSTATの矢印に対応する固定目盛盤の数値40.3を読む
- 回転目盛盤のNAUTの矢印に対応する固定目盛盤の数値35を読む

〔答〕 40.3法定マイル
35海里



保証規定

時計をご使用中、正常なご使用状態で自然故障を生じた場合は、下記保証規定により、お買い上げ日より1年間無料修理を行います。

■保証の対象になる部分

クォーツ時計の内部部分(電子回路、駆動系機械部分)、機械式時計の内部部分(駆動系機械部品一式)、ただし電池、革ベルト等の消耗品、ケース、ブレスレット類の小キズ、汚れやガラスの破損による外観の変化は除きます。

■保証方法

修理・調整を原則といたします。修理の際、ガラス・ケース・文字盤・針・バンドなどは、一部代替品を使用させていただく場合がありますのでご了承ください。

■保証を受けるための条件

修理・調整の際は必ず現品に保証書を添えてお買上げ店にご持参ください。なお、保証書が添えてあってもお買上げ店名及び購入日の記載のないものは無効とさせていただきます。

■保証の適用除外

保証期間中であっても次の場合は有料修理となりますのでご注意ください。

- 誤ったご使用、お客様自身による修理、改造または、お取り扱いの不注意による故障。詳しくは、取り扱いの項をご参照ください。
- 保証書の提示がない場合。
- 保証書にお買上げ店名、ご購入日の記載のない場合。また、保証書の記載事項に訂正のある場合。
- 天災、火災、事故による故障、破損の場合。

※保証書は上記保証規定により無料修理を保証するもので、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証は日本国内のみの適用とさせていただきます。

保証書

商品名		
モデルNo.		
お買上げ店	住所	〒
	店名	TEL - -
お買上げ日	年	月 日
保証期間	お買上げ日より1年間	



■購入・製品についてのお問合せ

製造発売元: 株式会社ウエニ貿易
カスタマーサポート

〒110-0008 東京都台東区池之端1-6-17
TEL 0120-119-936 10:00~17:00(土日祝除く)

■故障・修理についてのお問合せ

時計サービスセンター

〒110-0008 東京都台東区池之端1-6-13 境会館2階
TEL 03-5842-1159 10:00~18:00(土日祝除く)